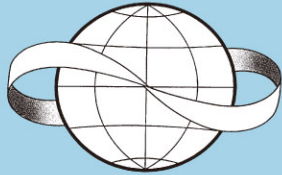


# ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第60号

商標登録第4882482号

発行 東多摩再資源化事業協同組合  
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生  
東京都東村山市久米川町1-16-18  
TEL: 042-395-9788  
FAX: 042-395-9787

もっとリサイクルを促進しよう

家庭から排出される不用品は、原則的に全て廃棄物とされる。この中で、専ら再生利用される『古紙類、古繊維類、金属類、びん・カレット』の四品目は『専ら物(もっぱらぶつ)』として、廃棄物の収集運搬や処理の許可がなくても取り扱うことが出来る。逆に、四品目以外のものは、有償、逆有償に関わらず、許可なく一般家庭から回収することが出来ない。だから、ペットボトルや廃プラの一部など、今や再生利用が当たり前の資源物は有償であっても廃棄物、逆有償での処理が必要なびん・カレットは専ら物という、ちょっとおかしな話になっている。

環境省からも指導が入っている。行政が回収してくれない、若しくは粗大ごみとして高価な手数料が必要な家電類をほとんど無料で処分してくれるのだから、一般家庭のユーザーにしてみたらありがたい存在だ。もつとも、不正なルートで流通させたり、エアコンの室外機等を盗む一部の不適切な業者がおり、手放しでは認められない。また、莫大な設備が必要な再生処理の認定業者は限られており、ルートを狭めた結果、逆に抜け道が多くなっているのも問題だ。

環境省からも指導が入っている。行政が回収してくれない、若しくは粗大ごみとして高価な手数料が必要な家電類をほとんど無料で処分してくれるのだから、一般家庭のユーザーにしてみたらありがたい存在だ。もつとも、不正なルートで流通させたり、エアコンの室外機等を盗む一部の不適切な業者がおり、手放しでは認められない。また、莫大な設備が必要な再生処理の認定業者は限られており、ルートを狭めた結果、逆に抜け道が多くなっているのも問題だ。

(TKO)

リサイクル適性(A)

## 直言拝聴

### 『ASEAN諸国のリユース事情』



株式会社ルーツ・オブ・ジャパン

代表取締役 湊 源道 様

弊社は、北海道札幌市を拠点にリユース品の国内売買及びASEAN諸国への輸出を商いの主軸に置いておりますので、海外でのリユース品の需要や今後の見通し等をお話しさせていただきたいと思えます。

私は元々他の業界で経営をしておりました。十八年前に学生起業しアジア雑貨の輸入販売をメインに事業を行っておりましたが、十年前に多額の借金と共に撤退。その後リユースの業界

で再起したのですが、あまりにも多くのまだ使える中古品が廃棄されている状況を日々感じ強い衝撃を受けました。それまでは日本人が買ってくれる商品からタイやベトナム等で企画し生産そして輸入していたので、生産から販売そしてゴミになるまでの過程を全て考えさせられることになったのです。

#### 「輸出形態」

自社のリユースショップ、ネットオークション販売、古物市場等での販路に流せない商材が多い現実に限界を感じ、七年前フィリピンへの輸出を開始しました。フィリピンでのオークション形式での販売業者への輸出を経験し、六年前にタイのチェンマイで直営の小売店「モノココタイランド」を作りました。ここで、実際にお客様と直接ふれあいタイでどんな需要があるのかを学ぶことから始めました。現在はバンコクのバイヤー様に卸売りを始め、今では個客目線の商材のクオリティから卸売りの売上が伸び続け輸出売上高の九十%を卸売りが占めています。

現在の中古商材の国内収集スキームは、出張回収、自社のリユースショップでの店頭回収、

同業他社リユースショップ、解体業、引越業者様等からの持ち込みなどです。集まった商材は国内流通分と海外輸出分を選択し、自社倉庫からは月間四十フィートコンテナを三本程度、タイのバイヤーへの卸売り並びに直営小売店に輸出しております。当社の輸出品は、タイやフィリピンのバイヤーから認められ、供給量以上のリクエストを頂くまでになっております。

#### 「どんな物が好まれている？」

主な商材は何ですか？とご質問を頂く事が多いのですが、一コンテナで三千種以上の商材があります。大雑把な言い方をすれば、外国人が欲しいと思う物が売れます。

まず、外からの目線で日本を見てみましょう。日本には世界でもトップクラスの技術が使われた商材が山のようにあります。包丁、日本人形、家具、はさみ、調理器具、民芸品などです。また、日本製ではなくても、品質重視の日本人が使った事も大きなブランド要素の一つです。

海外では未だにすぐ壊れる劣悪品や既に壊れている商品が市場に並んでいます。我々日本人は品質を非常に重視してきた

ので、ユーズドインジャパンという日本の中古品への信頼やブランドが生れました。

特記すると、今一番人気の商品としては中古バックです。最近までは靴の売れ行きも良かったのですが、台湾や韓国、上海、香港等の廉価な新品・中古商材がタイに流入するようになり、一気に価格が下落しています。

ASEAN諸国の中古品相場は、各国の経済動向、日本を含む他国の輸出業者による商品の供給状態により、大きく変動します。

一例を挙げると、フィリピンでは五年前までは壊れているテレビでも流通していました。しかし今は経済も成長し、日本の中古品輸出も急増し、中古品を売る小売店が五百店舗を超え、価格も下落し、壊れている物や明らかなゴミと思われるような物は価値がなくなりました。

しかしながら、まだ発展途上の中古品輸出には大きな可能性があります。遺品整理等で一世帯を丸ごと処分する現場では、輸出が無ければ八割は廃棄物になるところ、輸出とリサイクルという販路を加えれば逆転し八割がリユース可能なのです。

#### 「海外のお客様にという概念」

五年以上前の中古品輸出の主な動機として「ゴミの処分費用を削減する為に海外に送る」という考えは既に通用せず、私達が今後国内の廃棄物を減らし、外貨にする為には、海外のお客様に喜んで買って頂ける商材を廃棄物の中から選別し、輸出することが重要となつてきます。

タイでもゴミを送るなというバイヤーの怒りの声を耳にする事も少なくありません。汚れているもの、明らかにゴミだと分かる物でかさ増ししている業者も少なくありません。経費削減の為にゴミを送ることは、いつか業界へツケが回つて来ます。

今国内では処分場の限界が問題になり、世界では環境問題が取り沙汰されています。廃棄されていた物を見直し、まだ価値を見出してくれる国で商材として扱ってもらえることは、我々日本人の近未来の大きな財産で、私は都市商材と呼んでおります。所変われば価値も変わります。我々日本人がこうした仕組みを成熟させ、世界に広げることはとても大きな重要なことであり、我々の責務だと思えます。

また途上国では、日本ほどリサイクルの技術も進んでいませ

ん。商材にならないゴミを輸出した場合、現地で処理しなくてはなりません。ASEAN各国でもゴミの山で生活し幼い頃からゴミの仕分けを生業とするスモークーマウンテンも存在しますし、日本では考えられないような非環境型の廃棄方法をとっている国もあります。世界規模で環境を考え、輸出事業を行う必要があります。

#### 「商材を知つてもらう努力」

タイ・チェンマイの直営店舗を通じて私が学んだ最も重要な事は、「知ること」「知らせること」「通じ合う事」です。一般の商売であればやはりお客様あつての商売であり、良い商品があればどこか良いのか知らせる作業が必要です。例えば「のこぎり」や「包丁」は、最初全くと言ってよいほど売れませんでした。しかし日本の職人が丹精込めて作っている様子の動画をお客様に見てもらったり、日本の刃物は力づくではなく引くことによりその威力を発揮する事を伝えると、たちまち口コミで広がり人気商品となりました。

またお客様のニーズを聞きだすことも重要でした。私達が売れないと思つているような物で

も意外とお客様の声から人気商材となるような物があります。釣り好きのお客様のひと声ではじめた釣りの具の輸出が順調なのがその良い例です。日本で廃棄されている商材を品目で数えるのと数万いやそれ以上あると考えます。前述のような海外のお客様のニーズを知り、こちらも良い商材を伝える繰り返しが互いに中古品輸出を成熟させていくのだろうと確信しています。

#### 「変わりゆく世界情勢の中で」

輸出に大きく関係してくるのが世界情勢です。今世界は本格的にポーターレスな時代に突入しました。日本の報道で耳にするTPPだけではなく、次々とFTA(自由貿易協定)やEPA(経済連携協定)が締結されています。ASEANにおいても来年二〇一五年からAEC(アセアン 経済共同体)が本格的にスタートします。

AECの開始により、ASEAN加盟国十カ国が一つにまとまり、人口約六億人を超える規模の一大経済圏が誕生します。AECはいわば、欧州EUのASEAN版で、「統一通貨を設けない」「域内でのヒトの移動は熟練労働者に限定」等、EU

との相違点はありますが、「域内の関税撤廃」、「貿易の円滑化」、「投資の自由化」、「知的所有権の保護」等で共通した枠組みで構成されており、「ヒト、モノ、金」の行き来が自由になることで、更なる大きな経済の活性化が予測されています。

また東西南北の経済回廊も整備が進み陸路での行き来が盛んになっていく事も一つの重要な視点ともいえると思います。

これからはASEANの何処かの国に輸出した中古品がそこから更に第三国に流通することが容易になるのです。

中古品の関税は新品と同じ価格の関税になることが多いですが、TPPとの組み合わせで、無関税で輸出した商材がさらに第三国まで関税が無い状態で流通する事が可能になることも遠い将来の話ではないのです。

現在フィリピン、カンボジアが日本の中古品販売の激戦区ですが、世界には一九五の国があり、需要も各国バラバラです。日本の中古品を扱う事業者が情報を集め、もつと手を握り世界中に日本の中古品を流通させることは可能なのではないかと思います。

## 東リ協会主催フォーラム

七月十四日、荒川区のホテルラングウッドにて東京都リサイクル事業協会（以下東リ協会）主催のフォーラムが開催された。東リ協会は本年四月一日に公益社団法人への移行を東京都より認定を受け、今回はその認定記念の開催でもある。「リサイクルの公益性を改めて考える」をテーマに行政関係者・市民団体・業界関係者の多数のご出席をいただき盛大に開催された。

東リ協会  
上田理事長

最初に東リ協会・上田雄健理事長より、「東リ協会は今年四月に公益社団法人に移行した。リサイクルの品質確保、効率性、継続性を求めて活動している。今日のフォーラムで改めて公益性とは何かを考えてみたい。これからも都民、行政、回収事業者との懸け橋となりたい。」と挨拶があった。次いで来賓を代表して、東京都環境局資源循環推進部・齊藤和弥部長より、

東京都資源循環  
推進部・齊藤部長

「廃棄物の管理は大切だが、その前に資源になるものはリサイクルをしていかねばならない。今年度末にはリサイクルを含めた廃棄物対策の取り組みを定めたいと考えている。これからは、区市町村や事業者の皆様と一緒に議論を進めていきたいので、お力をお借りしたい。」と挨拶いただいた。

この後独立行政法人製品評価技術基盤機構・安井至理事長を講師に招いて「リサイクルの過去・現在・未来」をテーマに基調講演が行われた。講演の内容は以下の通りである。

一九九五年に容器包装リサイクル法が制定され、二年後から施行されたが、それ以前のリサイクルは「もったいない」という感覚で行われた気がする。その頃の公益性は「もったいない」と表現できるのではないか。

二〇〇〇年に循環型社会形成推進基本法が制定された。この中の廃棄物・リサイクル対策に、「喫緊

の課題がある」と記述があったが、これは埋立量削減である。環境省から出ている「我が国における物質フロー」の二〇〇〇年と二〇一〇年を比較すると、エネルギー消費やリサイクル量に変化があまりないが、埋立量は三分の一近くに減少していた。これは政策の成果ではないか。

しかし、最終処分量削減もリサイクルもそろそろ限界が見えつつある。また、昨年施行された小型家電リサイクル法は、希少金属を回収する事を目的としている。従来から使用していた金属資源は二〇五〇年には現有埋蔵量をほぼ使い切ってしまう。また、希少金属であるレアアースは中国が全世界の九十八%を占めており、小型家電リサイクルは金属供給のカントリーリスク（企業が海外との取引で、相手国・地域の政治、社会、経済状況の変化に伴い、損失を被る危険性の度合い）の面がある。現在、小型家電リサイクルで回収されているのは金、銀、銅くらいで、それ以外の希少金属は取れていない。

最後に地球レベルの環境問題として、地球が溜めているものは使わない事。エネルギーはほぼ自然エネルギーだけで行う社会にする

のが必要で、大変難しい面がある。二一〇〇年に達成できれば早い方ではないだろうか。

講演される  
安井至理事長

続いて各業界の方々が「リサイクル現場からの報告」をテーマにリレートーク形式で講演された。講演された方は次の通り。

- ・古紙：全国製紙原料商工組合連合会・栗原正雄理事長
- ・故繊維リサイクル：関東故繊維協会・木村誠副会長
- ・リターナブルびん：東京壺容器協同組合・田村豊也理事長
- ・カレット：東京硝子原料問屋協同組合・菅澤和志代表理事（急用により講演できず、東リ協会・後藤浩成事務局長が提出資料説明）
- ・スチール缶・アルミ缶、ペットボトル・廃プラ：港区リサイクル事業協同組合・永田博孝理事長

各業界の歴史、現在の状況と課題点、取り組み等の報告を行った。こうしてフォーラムは有意義な内に無事終了した。（福田）

## 日資連千葉大会が 開催される

第四十二回日本再生資源事業協同組合連合会（日資連）通常総会千葉大会が、去る六月十五日、千葉市中央区の京成ホテルミラマールで開催されました。

日資連は、有用な再生資源物を、信頼できる流通経路で適正に再資源化し、「持続可能な資源循環型社会の形成」に貢献することを理念とする、日本全国の資源回収業者及び加工業者（二千四百社）で構成される全国規模の組織で、昭和四十八年に設立されました。

日資連は「再生資源回収事業者認定制度」を立ち上げ、運営しています。この認定制度は日資連の理念に基づいた、独自の選定基準をクリアした再生資源回収業者を認定する制度であり、認定された回収業者の信頼性を担保する制度です。

当組合員も、この理念に賛同し認定審査を受け「再生資源回収事業者」の認定をされています。全国組織である日資連は、製紙メーカーや輸出商社に働き掛け、持ち去り古紙流通阻止運動を展開し、

持ち去り問題に取り組んでいます。今年の総会は役員改選に当たり、飯田俊夫氏（千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会会長）が新会長に就任しました。当組合関係者では、吉浦理事長が副会長に、紺野専務理事が青年部長兼理事に、紺野常任顧問が相談役兼理事として務めることになりました。

来年度は、北海道札幌市を総会開催地に決定して、無事総会は終了しました。（小畑）



飯田日資連新会長

## 集団資源回収団体 連絡会が行われました

### 【東村山市】

五月二十五日に東村山市市役所北庁舎第二会議室にて「集団資

源回収団体連絡会」が開催されました。当組合からは吉浦理事長と水野青年部副部長が参加しました。今回はプロジェクトを利用して、最近の古紙情勢、古繊維のリサイクルについて説明致しました。質疑応答では活発な意見交換が行われ、資源物の回収方法、持ち去り問題の現状及び業界が行っている対応、資源物の広報を充実させてほしいなどのご意見をいただきました。市民団体の皆様のご協力により、集団回収は円滑に行われています。今後も最新の情報を提供し、より良い回収が行われていけるよう努力して参ります。（水野）



東村山集団資源回収団体連絡会

### 【西東京市】

七月十六日、エコプラザ西東京で行われた、西東京市集団回収団

体意見交換会に参加しました。会に先立ち、ごみ減量推進課・山本茂課長のご挨拶、西東京市の担当職員の紹介、東多摩再資源化事業協同組合の紹介が行われました。

市内の集団回収の実績・奨励金の交付状況の説明の後、今年はその組合の紺野顧問より集団回収で集められる古紙と古繊維の現状の報告が行われました。

西東京市は全国的にみても大変リサイクル意識が高く毎年この意見交換会には参加させていたいただいているが、市民の皆様に感謝し日々の業務に取り組んでいきたいと強く感じました。（福田）



西東京市集団回収団体意見交換会

# リサイクル掲示板

## 各市リサイクルフェア

前号にてお伝えした通り、五月から七月にかけて、春夏の各市リサイクルフェアが行われました。

牛乳パック六枚とトイレットペーパー一個との交換、リユース（再利用）促進キャンペーンとして、まだ使える玩具・育児用品・ぬいぐるみとポケットティッシュ・お菓子との交換、リサイクル品の分別ゲームを行いました。なお、集められました玩具、育児用品、ぬいぐるみは国内外で大切に再利用されており。また、分別ゲームでは、家族で挑戦する方も多く、改めて分別品目を理解できたという声が聞かれました。



秋にも次の通りリサイクルフェアを行いますので、是非お越し頂きますよう、お願い致します。

こだいら環境フェスティバル  
開催日時：九月十三日（土）

午前十時より  
会場：中央公園（津田町）

・牛乳パック六枚とトイレットペーパー一個との交換（お一人様二個まで）、まだ使える玩具・育児用品・ぬいぐるみとポケットティッシュ・お菓子との交換、リサイクル品分別ゲームを行います。  
**東村山市リサイクルフェア**

開催日時：十月十九日（日）  
午前十時より

会場：東村山市役所前（本町）  
・牛乳パック六枚とトイレットペーパー一個との交換（お一人様二個まで）、リサイクル品の分別ゲームを行います。なお、玩具・育児用品・ぬいぐるみとポケットティッシュ・お菓子との交換は行いません。ご了承ください。

**清瀬市市民祭り**  
開催日時：十月十九日（日）

午前十時より  
会場：けやき通り（清瀬駅北口）  
・トイレットペーパー「ブーメラン」の販売を行います。なお、玩具・育児用品・ぬいぐるみ及び牛乳パックの交換、リサイクル品分別ゲームは行いません。ご了承ください。

（豊岡）

## リサイクルできない

### 紙禁忌品に注意！

紙のリサイクルを妨げている紙禁忌品では、防水紙、金銀紙、カーボン紙などの他に、最近では発泡紙、臭いの付いた紙などが問題になって、大量の不良品を出しています。更にこの頃、家庭に入ってきたアイロンプリント紙（捺染紙・昇華転写紙）も古紙に混入して重大なトラブルになっていきます。昇華転写紙（捺染紙）とは、昇華転写インクで印刷された紙です。一般にはアイロンプリントという方がおなじみでしょう。絵柄や文字を転写する際に利用されます。特徴としては文字が逆さまになっていることです。また、最近では、



昇華転写紙（捺染紙）

カバンや靴など海外（特に中国）からの輸入雑貨の中に緩衝材として昇華転写紙が入っていることがよくあります。

昇華転写インクは常温で徐々に昇華する性質があり、仮に白板紙の原料となる古紙に混入した場合、数ヶ月後に紙の表面に赤や青のシミになって現れます。そのため、食品などの箱になった場合はカビが生えたようになってしまいうことがあり、売り物になりません。

昇華転写インクは、現在の古紙処理技術では完全に除去することができないためお気づきの際は、必ず可燃物として廃棄して下さい。なお、古紙禁忌品については当紙五十四号、五十七号、五十九号でも特集し、各市のリサイクルフェアでも必ず訴えております。

（佐藤）



中国からの輸入カバンに入っている捺染紙

## リサイクル掲示板

## リサイクル掲示板

行政回収作業員講習会

去る七月二十九日、東村山市市民センターにて行政回収作業員講習会を開催した。

最初に吉浦理事長からの挨拶、続いて御来賓として、東村山市資源循環部ごみ減量推進課より、内野昌樹課長、菅勝則主任、加納利行主任技能員が紹介された。代表して内野課長より「皆様には日頃から行政回収に御協力頂き、大変感謝しております。十月より東村山市の資源物は戸別回収となり、回収作業の体制が大きく変わると思いますが、課題の整理をして戸別回収の準備を進めて頂きます様、お願い申し上げます。また、私達も本日の講習会の内容を今後の業務に役立てて参ります。」と挨拶を頂いた。

講習会では紺野専務理事が講師役を務めた。まず、回収作業員としての心得について触れ、各種法規を遵守する事、市民行政の信頼と負託に応える仕事をする事、安全を何よりも優先する事、市民サービスの精神を忘れず業務を行う事の必要性を再認識するよう、説明があった。

次に、十月より東村山市の資源



物回収が戸別収集へ移行するにあたり、あまり立ち入ることの無い生活道路への進入、狭い路地・行き止まりの路地への進入と方向転換、玄関先・庭先など私有地からの回収、回収地点増加による回収方法の変化など、どう対処すべきかを考えてもらい、意見交換を行った。回収員からは、今まで経験したことのない、これまでと全く違う回収方法への不安や疑問点、現時点で考えられる対処方法が挙げられた。また、市の見解や対応は内野課長などに回答していただいた。最後に戸別回収は、高齢社会が進むにつれ、非常に重要になる。住民に喜ばれ、必要とされる仕事なので、誇りを持って取り組もうと参加者に呼びかけた。

その後、紺野常任顧問から、この秋、各市で予定されている資源回収品目拡大について説明があり、市により拡大される品目や実施時期が異なること、回収品目拡大については、かなり以前から各方面への交渉を重ねてようやく実現したので、くれぐれも回収できないとして対処する事の無いように充分気を付けてもらいたいと呼びかけていた。

最後に小畑副理事長が、「戸別回収移行に向けて現在、市と組合とで協議を重ねているが、実際に現場で作業している回収員の皆様の声が何より重要なので、意見や提案があった場合、積極的に会社や組合の方に伝えてほしい。」と呼びかけ、講習会は閉会した。こうして今回の講習会は無事終了した。最後に御多忙の中、講習会にご出席して頂きました、内野課長、菅主任、加納主任技能員に深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

(豊岡)



トイレットペーパー

**「フューメラン」**

(65m巻き・100個入り)

1ケース3,200円(消費税・配達料込み)です。

※なお、配達には以下の地域に限定させていただきます。

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・東大和市

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787

## 秋水園リサイクル センター見学会

この程、東村山市の秋水園（東村山市秋津町四丁目）に完成し、去る七月十八日（金）午後三時、資源循環部ごみ減量推進課主催のリサイクルセンター見学会が行われた。

当組合からの参加者は、吉浦理事長以下六名。

まずはじめに、リサイクルセンター三階の会議室で、資源循環部・間野部長とごみ減量推進課・内野課長より挨拶があり、その後リサイクルセンター内の見学となった。

当リサイクルセンターは、建築面積としては、リサイクルセンター棟が二、一九四㎡、粗大ごみ処理棟が二一八㎡、ストックヤード棟が一四〇㎡となっている。

リサイクルセンター棟では、資源物（びん類・缶類）を種類や色毎に選別処理を行っており、処理能力は、びん類が七・八t/日（手選別）、缶類が三・四t/日（選別・圧縮）となっている。

粗大ごみ等では、タンク・自転車等の粗大ごみを選別し、ストック



見学会で挨拶する資源循環部・間野部長（左写真中央）と当組合吉浦理事長（右写真左）

クしており、処理能力は、九・六t/日となっている。

ストックヤード棟では、蛍光管・乾電池等の有害ごみの破碎・ストックや、不燃ごみのストック等を行っており、処理能力は、蛍光管・乾電池が共に〇・二t/日、不燃ごみが九・二t/日となっている。

いる。

これらを合計すると、当リサイクルセンターの処理能力は、三〇・四t/日となる。

リサイクルセンター内の見学では、ごみ減量推進課の職員の方々の説明の下、各種廃棄物の受入から、選別処理作業の様子・ストックヤードの状況・夾雑物の処理・選別作業時の使用エネルギーの管



リサイクルセンター内見学の様子

理（太陽光発電）、並びにリサイクルセンター全体の運営管理（廃棄物の計量・機械設備等の管理等）を見学した。

当組合では、小平市リサイクルセンター及び柳泉園リサイクルセンター（一部）の資源物選別処理作業を委託させて頂いているが、秋水園リサイクルセンターは、これら素晴らしい廃棄物処理施設であると感じた。

最後に、今回秋水園リサイクルセンター見学会を主催して頂いた資源循環部ごみ減量推進課の皆様、厚く御礼を申し上げますと共に、今後も、見学会の開催を希望致したく、宜しくお願い申し上げます。（柿崎）



リサイクルセンター  
正面玄関前にて



# ガスミュージアム

## ガスミュージアム

ガスミュージアムは、東京ガスの事業の歴史及び暮らしとガスの関わりを紹介するガスの歴史博物館です。館内には「ガス灯館」(一九〇九(明治四十二)年建築・東京ガス本郷出張所を移転復元)、「くらし館」(一九二二(明治四十五)年建築・東京ガス千住工場計量器室を移設復元)、十七基のガス灯が灯る、「ガスライトガーデン」があります。



ガス灯館

「ガス灯館」では、明治時代に明かりとして実際に使用したガス灯展示と共に、ガス灯の点灯実演が行われます。また、当時の人々の暮らしを、錦絵等の企画展で紹介するギャラリーもあります。(企画展開催については下記ホームページ)

ージで紹介しております。)

「くらし館」では、「ガスとくらしの一世紀」をはじめ、「瓦斯器具立体型録(がすぎぐりったいかたろぐ)」「広告でつづるガスのあるくらし」等の五つのコーナーで、約百四十年にわたる暮らしとガスの関わりについて、実際に使われたガス器具、カタログ、ポスター等の展示で紹介しています。



くらし館と  
ガスライトガーデン

「ガスライトガーデン」には、デザインの異なるガス灯が灯り、年間を通じ様々なイベントが行われます。

日常生活で使っている都市ガスについて、見やすい展示により、よく理解できますので、是非一度見学にお越しになってください。

### 【所在地】

小平市大沼町四丁目三十一―五  
(「滝山南」交差点そば)

### 【開館時間】

午前十時より午後五時まで  
(入館は午後四時まで)

### 【休館日】

月曜日、年末年始  
※月曜日が祝日・振替休日の時は翌日休館

### 【入場料】

無料

### 【ホームページアドレス】

<http://www.gasmuseum.jp>



ガス灯

## 結婚報告

青年部副部長の水野です。昨年末、三年の交際期間を経て十一月二十三日(勤労感謝の日)に入籍いたしましたことをご報告させていただきます。最高の人生の伴侶を得られたことたいへん嬉しく思っています。僕の第一印象は「仕事以外何にも興味の無さそう」だったそうです。同じ地元という事もあり、共通の友人や、共通の話

題で盛り上がり交際がスタートしました。忙しい生活ではありましたが、少しの時間でも顔を合わせお互いの話をし、絆を深めてきました。胸を張って家族を守れる男になってから、結婚をしたいと思っていました。しかし家族になるという事は、お互いを支え高めあっていくものだと考えを改め、一緒に人生を歩んで欲しいとプロポーズをしました。

仕事や組合活動に行く時、必ずかけられる言葉があります「誰かに言われたからやるじゃなく、自分がやる」と決めたからやる男でいて、「仕事・組合活動に理解を示し、背中を押してくれる妻に恥じることの無いよう頑張つて参ります。今後ともよろしくお願い致します。



**行事・行動**

【平成二六年六月】

- 一日：東大和市環境市民の集い
- 二日：東村山市GPS追跡調査
- 三日：西東京市GPS追跡調査
- 四日：東村山市RF実行委員会
- 六日：小平RC会議
- 九日：東資協理事會
- 一〇日：西東京市回収品目打合  
青年部会議
- 一日：官公需受注検査委員会  
定例理事會
- 四日：東久留米市環境F（一五日まで）
- 五日：日資連全国大会
- 六日：東村山市戸別収集打合せ
- 東リ協会持去意見交換會
- 九日：小平市GPS追跡調査
- 二〇日：業務委員会  
東リ協合理事會
- 二四日：官公需受注検査・西東京  
小平RCペットボトルベ  
ール検査
- 二五日：官公需受注検査・小平R  
C、東久留米
- 三〇日：西東京市廃棄物減量等推  
進審議會

【七月】

- 三日：広報委員会  
東村山市戸別収集打合
- 四日：小平RC会議

青年部会議

- 七日：財務委員会、業務委員会
- 八日：東リ協会・東京都環境部  
情報交換會
- 東資協理事會
- 九日：東大和市環境市民全体會
- 一〇日：定例理事會
- 一四日：東リ協会Rフォーラム
- 一五日：小平市廃棄物減量等推進  
審議會
- 業務委員会、青年部會議
- 一六日：官公需受注検査・東村山  
西東京市集団回収意見交  
換會
- 東村山市行政回収打合
- 一八日：東村山市秋水園RC見学
- 二六日：清瀬市環境・川まつり
- 二八日：業務委員会
- 二九日：行政回収作業員講習會
- 三〇日：家族慰安會  
東村山市業者連絡會議
- 三一日：西東京市受託事業者會議

【八月】

- 四日：広報委員会  
協議會
- 五日：官公需確保対策地方推進  
協議會
- 東村山市戸別収集打合
- 東久留米市行政回収打合
- 六日：東村山市RF実行委
- 七日：西東京市回収品目打合  
小平市環境F打合
- 八日：小平RC會議

東資協理事會

- 一日：定例理事會
- 一三日：中小企業団体中央會巡回
- 一四日：業務委員会
- 一八日：東リ協合理事會
- 二五日：東村山市戸別収集打合  
東久留米市回収作業員懇  
談會（二六日まで）
- 二八日：東村山市戸別回収打合  
業務委員会
- 二九日：小平RC會議

【九月】

- 一日：東村山市戸別収集打合
- 五日：古紙持ち去り意見交換會
- 八日：東資協理事會
- 九日：財務委員会
- 一〇日：青年部會議
- 一日：福利厚生委員会  
定例理事會
- 一三日：小平市環境F
- 一七日：東リ協合理事會
- 東村山市戸別収集打合
- 一八日：東大和市環境市民總會  
東村山第二中学校職場体  
験（一九日まで）
- 二四日：東村山市業者連絡會議
- 二六日：東村山市RF実行委  
行政回収作業員講習會

**編集後記**

ルーツオブジャパンの湊様、「直言拝聴」にご寄稿ありがとうございます。また、タイ視察の際には大変お世話になりました。御社名に冠する、日本製ならぬ「日本から」の商品が多くの方々が必要とされていることが分かりました。まだまだ大切に使用して頂ける家具や小物雑貨など、ごみになってしまっている多くのモノの活路を見出していきたいと思えます。日本人は、元々神羅万象全てのものに魂が宿っているという考え方ですから、モノを大事にする、もったいないという心を生まれながらに持っています。それゆえ、なかなか処分できないということもあるのかもしれませんが。モノにごみと名付けた時点でごみになります。ごみと名付ける前に、まだまだ使えるモノには、第二の人生を、ではなく『第二の物生』を与えてあげてはいかがでしょうか。そんなお手伝いを私たちがしていければと考えます。

ですが、私たちがまだまだ研究段階ですから、視察、そして視察、さらには視察を重ね、見聞を広めてしっかりとした受け入れ体制を作ってまいります。（TKO）

